

平成26年度予算見積調書

課室名：畜産安全課
 担当名：畜産振興担当
 内線：4193

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B23	埼玉の肉牛を守り・育てる生産構造転換事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	秩父高原牧場費	
事業期間	平成26年度～平成36年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律、家畜改良増殖法			戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化		
						分野施策	030201 収益力ある農業の確立		
1 事業の概要 高品質な和牛生産の割合が低い本県では、TPPによって大きな打撃を受ける可能性がある。 このため、秩父高原牧場における和牛子牛の生産力を強化し、県内肉用牛農家へ和牛子牛を安定的に供給することで和牛生産基盤の強化を図る。 (1) 和牛子牛生産拡大事業 428千円 (2) 和牛子牛育成施設整備事業 37,980千円 (3) 受精卵処理施設整備事業 20,976千円				5 事業説明 (1) 事業内容 県内酪農家から受託した乳牛に秩父高原牧場で作成した優良和牛の受精卵を移植する。移植後、酪農家で生まれた和牛子牛を約2か月齢で買い取り、秩父高原牧場で約9か月齢まで育成する。優良な繁殖雌牛として期待できる子牛については県内和牛繁殖農家に、その他の子牛は県内肉用牛肥育農家に供給する。 ア 和牛子牛生産拡大事業 428千円 秩父高原牧場への優良和牛繁殖雌牛の導入、県有和牛から受精卵作成、酪農家から受託している乳牛への受精卵移植、受精卵移植で生まれた和牛子牛の買取・育成・譲渡 イ 和牛子牛育成施設整備事業 37,980千円 和牛子牛を約7か月間育成するために必要な牛舎及び機器の整備 ウ 受精卵処理施設整備事業 20,976千円 県有和牛から摘出した受精卵を移植可能な受精卵に調製するための処理室及び機器の整備 (2) 事業計画 平成26年度 受精卵の作成・移植、施設整備 平成27年度～ 受精卵の作成・移植、優良繁殖用雌牛導入（以降、5年毎に5頭ずつ）、和牛子牛の買取・育成・譲渡（50頭 平成27年度は50頭買取・20頭譲渡） (3) 事業効果 優良な和牛繁殖用子牛が県内に保留され、県内和牛繁殖雌牛の資質向上が図られる。 また、県産和牛肥育用子牛の県内肉用牛肥育農家への供給体制が確立し、県産和牛生産の拡大、乳用種・交雑種生産から和牛生産への転換が図られ、収益性の向上による経営安定が図られる。 【平成32年度目標】 和牛出荷頭数62%上昇（3,400頭 5,500頭）、農家1戸あたりの売上600万円上昇（1,600万円 2,200万円） (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 受精卵移植を実施する獣医師と連携し、乳牛への和牛受精卵移植の普及を推進する。 埼玉県肉用牛経営者協会や彩の国和牛繁殖農協協議会と連携し優良和牛子牛を供給する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円(増員)									
予算額		財 源 内 訳							
		県債						一般財源	前年との 対比
決定額	59,384	47,000						12,384	59,384
前年額									